

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立柏ヶ谷中学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

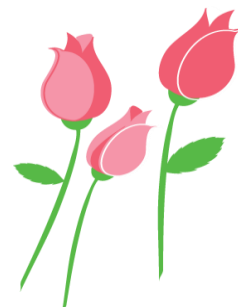
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的をもってインタビューをする場面において、知りたい情報に合わせて質問する内容を検討したり、聞き取ったことを基に目的に沿って自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて複数の文章を読む場面において、行為、心情を表す語句について理解したり、表現の効果について考えたり、叙述を基に捉え要旨を把握したり、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。
- ・調べたことなどをレポートにまとめて書く場面において、読み手の立場に立って文章を整えたり、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書いたりすることができるかどうかをみる。
- ・古典の原文と古典に解釈を加えて現代語で書いた作品とを読み比べる場面において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んだり、古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えたりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 全国正答率と比較すると、記述式の問題の正答率が高いです。特に、インタビューの聞き取り内容を基に自分の考えをまとめたり、文章の内容を知識や経験と結び付けて考えを書いたりする、自分の考えを書く問題がよくできています。また、考えを伝える際に根拠を明確にすることができます。
- 文章の内容から具体と抽象の関係を理解し、見出しを適切に作ることができます。

◆課題のある点

- 自分の意見を書くときに根拠を示すことができる一方、文章を読むときの意見と根拠の結びつきの理解については課題があります。
- 古典の学習において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すなどの基本的な知識が定着していません。
- 文脈に即した漢字の使用ができていません。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文脈に即した漢字の使用ができるように、新出漢字の学習だけでなく、同訓、同音の既習の漢字を例文とともに振り返ります。
- 古典の学習における音読指導を充実させます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・事象を数・量・図形等に着目して観察したり、事象の特徴を的確に捉えたり、理想化・単純化したり、情報を分類・整理したりすることができるかどうかをみる。
- ・問題解決に向けて解決の方針を立てたり、筋道を立てて考えたり、方針に基づいて解決したり、事象に即して解釈したことを数学的に表現したり、数・式・図・表・グラフなどを活用したり、数学的に表現したことを解釈したり、解決の結果を数学的に表現したりすることができるかどうかをみる。
- ・数学的な結果を解釈したり、必要な情報を選択し判断したり、解決の過程や結果を批判的に考察したり、解決の過程や結果を振り返り評価・改善したり、統合的・発展的に考察したり、事象を多面的に見たりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 各分野において、根拠を明らかにして記述する力が身についています。
- 基本的な計算が身についています。
- 数の性質を帰納的に考察し、結論を出す力が身についています。

◆課題のある点

- 資料・データを正確に読み取る力に課題があります。
- 資料・データを読み取った結果から、わかることを考える力に課題があります。
- 累積度数を求める計算に課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 資料・データを読み取る指導や、読み取ったデータからわかることを考察する指導が必要と考えます。また、各学年で学習する表やグラフを横断的に指導し、表とグラフ、表と表、グラフとグラフの関連に重きを置きたいです。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて活用できるかどうかをみる。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができます。
- 日常的な話題や社会的な話題について、短い文章の概要を捉えることができます。
- 基本的な文法を理解して、肯定文や否定文を正確に書くことができます。

◆課題のある点

- 英文に付随したグラフやメールなどを理解して、適切に応じることに課題があります。
- 日常的な話題について、事実や自分の考えをまとまりのある文章を書くことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 基本的な語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識は身に着けているが、実際のコミュニケーションの場面で利用する力が十分でないことが課題であることが分かります。簡単な英文で自分の考えを表現できるようにグループワークやプレゼンテーションなど、人との関わりの場面で、英文を書いたり話したりする機会を増やしたいです。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」に「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した生徒が全国や県の平均より10ポイント以上上回っています。また「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」に「役に立つと思う」「どちらかといえば、役に立つと思う」も全国や県の平均より若干だが上回っています。各教科で「ICT 機器を活用しての学習効果の向上」の授業実践に取り組んでいる成果だと考えます。

◆本校の課題と思われるところ

○「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒が全国や県の平均より10ポイント以上下回っています。授業で学んだことは、日常生活の中や他の学習でも生かしていけること、つながっていることを伝えながら、学んだことが様々な場面において生かされていることを実感できるための手立てを考えていくことが必要だと考えます。

生活について

◆本校のよかったところ

○「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」に「2時間以上」「1時間以上、2時間より少ない」と回答した生徒が全国や県の平均より上回っています。本校では、毎日朝読書の時間を5分設けていることが、読書をするにつながついているのかもしれませんが、休み時間に読書をしている生徒の姿もみられます。

◆本校の課題と思われるところ

○「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)」に「よくしている」、「ときどきしている」と回答した生徒が全国や県の平均より10ポイント以上下回っています。1年生の時から学習に関する意識が低く、日ごろから家庭学習の大切さは伝えているがなかなか改善されません。学習を重ねていくことの大切さを伝えるだけではなく、具体的な方法を伝えたり、家庭での協力を得たりすることも必要だと考えます。

今後の具体的な取組について

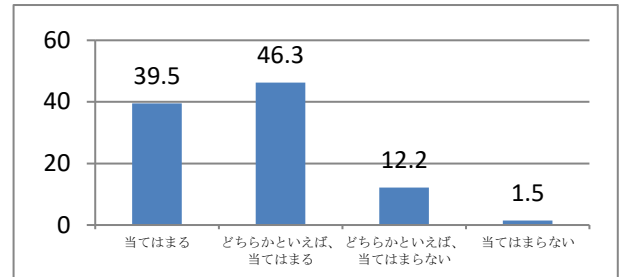
- 継続的に、各教科や各領域での「主体的、対話的な学習」、「わかる授業」を実践し、また積極的に学習に取り組む姿勢の伸長を目指します。
- 日々の学習から計画的に学習する姿勢が身につくための課題設定(家庭学習を含む)や取組を充実させることを目指します。
- ICT 機器を活用した授業実践の研究を継続し、学習効果の向上に努めます。
- 「自立」「共生」「豊かな心」の三本柱を具現化するため、生徒が充実感や満足感が得られるような、自ら考え動いていける自治活動の取組を充実させていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 健康的で規則正しい生活を送りましょう。

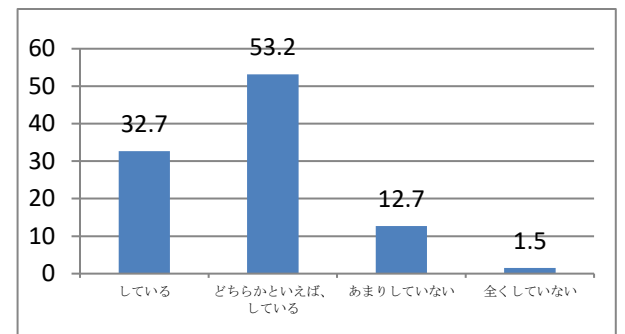
活力あふれる一日を過ごすためには、健康的で規則正しい生活が不可欠です。SNS等に夢中になりすぎないように、十分な睡眠時間をとりましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 友人や仲間のよさを認め合いましょう。

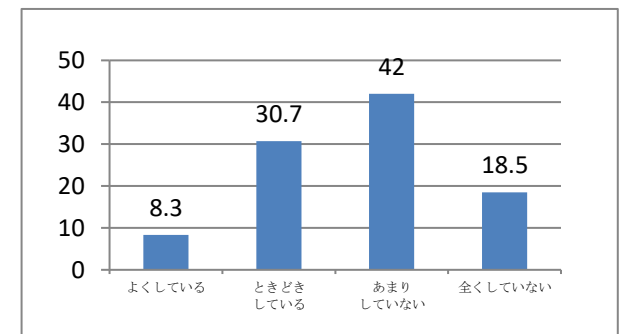
人の個性や価値観はさまざまです。他者のよさをお互いに認め合って、思いやりをもって、接するようにしましょう。



人が困っているときは、進んで助けていますか

3 計画的に学習する習慣を身につけましょう。

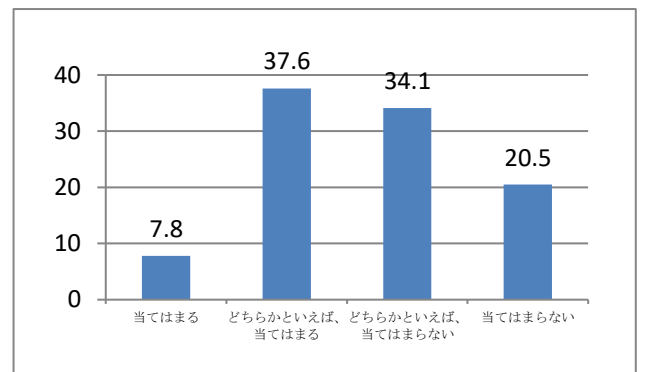
将来に夢の実現に向けて、努力を重ねていくことは大切です。人生設計を考える上でも、常日頃から、計画的に学習する習慣を身に付けましょう。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

4 地域や社会に貢献できるように心がけましょう。

お互いに支え合い、助け合うことで社会は成り立っています。まずは、スモールコミュニティである「地域」のボランティア活動などに積極的に参加しましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係